

○保育士B専門試験問題例

問1 保育所保育指針第2章保育の内容のうち、1歳以上3歳未満児の保育の実施に関わる配慮事項に関する次のA～Dの記述について、(1)～(10)にあてはまる語句を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。

A 特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、(1)、食欲などの日常の状態の観察を十分に行うとともに、適切な判断に基づく(2)な対応を心がけること。

B (3)活動が十分できるように、(4)に努めながら活動しやすい環境を整え、(5)を使う遊びなど様々な遊びを取り入れること。

C (6)が形成され、子どもが自分の感情や気持ちに気付くようになる重要な時期であることに鑑み、(7)の安定を図りながら、子どもの(8)な活動を尊重するとともに促していくこと。

D 担当の保育士が替わる場合には、子どものそれまでの(9)や(10)に留意し、職員間で協力して対応すること。

【語句群】

ア. 探索	イ. 発達過程	ウ. 指先	エ. 機嫌
オ. 全身	カ. 積極的	キ. 保健的	ク. 性格
ケ. 個別配慮	コ. 情緒	サ. 応答的	シ. 経験
ス. 自発的	セ. 自我	ソ. 事故防止	

問2 障がい児保育に関する次のA～Eの記述について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」をつけなさい。

A 障がいのある子どもの保育は、保育所で行うものであるため、家庭との連携は必要ない。

B 障がいのある子どもに対する支援や援助は、クラスの児童全体に役立つ援助とはならない。

C 自閉症は、社会性の障がい、コミュニケーションの障がい、想像力の障がいとそれに基づくこだわり行動を生まれつき持っている。

D 学習障害（LD）は、読み、書き、計算において、知的能力に比べ、著しい学習の困難が認められるという発達障がいである。

E ソーシャルスキルは集団の中で学んでいくものであり、ソーシャルスキルを学んでいくことが苦手な発達障がいの子どもは、スキルを使った失敗経験を通して身に付けていくことができる。

問3 スイスの心理学者であるピアジェが提唱した認知発達に関する次の記述について、( A )  
～ ( E ) にあてはまる語句を下記の語句群から選び、番号で答えなさい。

- ・ ピアジェは、子どもの認知発達を知識の増加ではなく思考様式の ( A ) な変化ととらえ、「4つの段階」で説明した。
- ・ 2～7歳頃は「( B )」と呼ばれ、表象が形成され、直接経験していない世界について考えられるようになる。概念化が進み複雑な思考も可能になるが、( C ) の概念は考慮できない。
- ・ おおよそ小学校に入学する前後に目の前にある対象に関する論理的思考が可能になる。この段階を「( D )」といい、量や数の ( C ) が可能になる。
- ・ 11、12歳以降は「( E )」にあたり、文字や数字、記号などの抽象概念をうまく扱えるようになり、命題や仮説的推論もできるようになる。

【語句群】

A	1. 質的	2. 量的	3. 物的
B	1. 前操作期	2. 形式的操作期	3. 抽象的操作期
C	1. 空間	2. 期間	3. 保存
D	1. 概念的操作期	2. 具体的操作期	3. 抽象的操作期
E	1. 機械的操作期	2. 形式的操作期	3. 最終的操作期

問4 子どもの食に関する次のA～Gの記述内の①～⑩の語句について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」をつけなさい。

A 咀嚼やぜんどう運動による ① 物理的消化 や、唾液や胃液に存在する消化酵素による ② 変質的消化 を行い、食べ物の栄養が消化管を通過できるようブドウ糖、アミノ酸、脂肪酸まで分解することを「消化」という。

B 3色食品群は「赤色群：たんぱく質」「黄色群：③ 糖質、脂質」「④ 青色群：ビタミン、無機質」がある。

C 保育所における食育に関する指針においては、保育所における食育の目標を「現在を最もよく生き、かつ、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本としての ⑤「食と生きる力」 の育成に向け、その基礎を培うこと」としている。

D 保育所における食育に関する指針第3章において、3歳以上児の食育のねらいは「食と健康」「食と人間関係」⑥「食と遊び」「いのちの育ちと食」⑦「料理と食」である。

E 乳児の哺乳行動とは、探索反射・捕捉反射・吸啜反射・⑧ 咀嚼反射の一連の運動によって営まれている。

F エネルギー源になる栄養素は「たんぱく質」「炭水化物」⑨「ビタミン」の三大栄養素である。

G 旨味成分である ⑩ イノシン酸 は、魚や肉類に多く含まれている。

問5 子どもが過ごす環境を整える上で、「絵本」は欠かせない物の一つですが、子どもが絵本に触れたり、見たり、読んでもらったりする活動を通して、身につくことや育まれる力を保育所保育指針（保育所保育指針解説を含む。）の記述の中から5つ記入しなさい。ただし、同義の解答はまとめて一つの正答とします。

問6 友だちとおしゃべりばかりして給食を食べるのに時間がかかっている児童（4歳児）に対し、あなたが担任ならどのように対応するかを述べなさい。

問7 室内で保育中に地震が発生した場合、子どもの安全を守るために5歳児の担任として、発生直後にどのような行動をとるべきかを述べなさい。

問8 自己肯定感とはどういうことか。また、子どもの自己肯定感を高めるための保育士の関わり方について、あなたの考えを述べなさい。（800字程度）